

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)5月27日(水)

## 経験の差 焦るが負けない

木津川市・辰巳 優奈(大学生・20)

将来の夢は保育士になることだ。私は、その夢をかなえるために四年制の大学に入学し、今年の春で3年生になった。

大学受験の高校3年生の時、短期大学でも取れる資

格だということもあり、四年制に行くべきか短期大学に行くべきか悩んだ。自分の力量や取れる資格のことを考え、四年制大学へ行き、自分のペースで勉強しようと思った。

しかし、3年生になった今、短期大学へ行っていた同級生たちは保育士として働きだしている状況に対し

て、大きな劣等感を抱いている。同級生たちが保育士という立場となった今、ほとんど経験値の差が開いていくことに対して、不安や焦りを感じている。

だからこそ、あと2年残っている大学生活の中で、さまざまなことに取り組んでいきたい。取りたい資格に挑戦したり、積極的に子どもと関わることで、機会に参加したりして、自分の経験を積み上げ、自信を持てるようにしたい。

※無断転載不可